

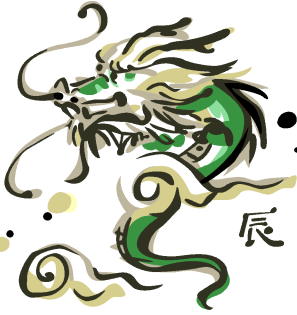


東中だより



No. 15 令和6年1月9日

伊丹市立東中学校長
多田英稔



新年あけまして
おめでとうございます
本年もどうぞよろしく
お願い申し上げます



保護者の皆様へ

本日1月9日、3学期がスタートしました。子どもたちの明るく元気な姿に会えたことをたいへんうれしく思います。

去年は、新型コロナの5類移行により、様々な教育活動もコロナ前に近い活動を行うことができました。保護者の皆様には、人数制限もなくご来校いただく機会が増え、子どもたちの様子を幾度となく見ていただけたことは、学校といたしましても大変うれしく思っております。

また、保護者の皆様の多大なるご理解、ご協力のお陰で、こうした本校の教育活動を進めることができました。本当にありがとうございました。

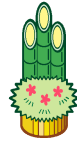
今年、元旦から北陸での能登半島地震、2日の羽田空港の飛行機事故と、自然災害や大事故により多くの方々が犠牲になりました。被災された方々、お亡くなりになられた方々に対し、深くお見舞い申し上げます。また、阪神淡路大地震を経験した私たちだからこそ、1日も早く復興し普通の日常に戻ることをお祈りいたします。

さて、今年「辰年」です。まさに「龍」のように力にあふれ活気づくような年となり、運勢が上りやすく、開運に導かれやすい年ともいわれます。「辰年」が【新しいことを始めて成功する、いままで準備してきたことが形になる縁起のよい年】と表すように、子どもたちにとっても努力をしたことが成功する、結果が形で表れるよう学校でも教職員一同力を合わせて教育活動を行ってまいります。

3学期は、それぞれの学年のまとめの学期であるとともに、卒業・進級という新しいステージに踏み出すための準備となる学期です。生徒の夢や目標の実現に向け、心身共に成長できるよう取り組んでまいりますので、引き続き保護者の皆様のご理解とご協力をいただきますよう、よろしくお願い申し上げます。



生徒の皆さんへ



生徒の皆さん、あけましておめでとうございます。令和6年、2024年の新しい年を迎えました。今年、元旦には北陸の能登地方の大地震、2日には飛行機事故と災害や大事故からの年始めとなりましたが、こうしてまた、皆さんの明るく元気な姿を見れたことを、大変うれしく思います。

さて、今日から3学期が始まります。3学期の登校日数は昨年と同じです。1・2年生は52日、3年生は42日間という短い学期ですが、中学校生活のまとめとしてとても大切な学期です。特に、3年生にとっては義務教育の最終学期であり、受験を控えた大切な時でもあります。

よく「受験は団体戦」とも言われます。これは、学級の仲間が、互いに教え合い、互いに支え合い、互いに励まし合いながら、個人の力を高めていくことが、最終的に学級の力を高め、みんなで受験を乗り切ることにもつながるという意味をもっています。3年生の皆さんの、志望校合格と進路の実現を願っています。

そして、昨年度も話をしましたが、そのために最も必要なのは基礎・基本の学習です。1つ1つの基礎・基本をおろそかにする人は、一時的にテストの点数が良くても、その先の成績が伸びないということになります。これは、1・2年生にもいえることですので、毎日の授業を大切にして、基礎・基本を身につけていきましょう。

また、1・2年生においては、1年間の集大成の時期であり、進級するための準備期間でもあります。この学期を、次の学年の「0学期」ということもあり、2学期の終業式で代表作文の生徒から話もありましたので、覚えていることと思います。3学期から次の学年が始まっているという「意識と自覚を持って学校生活を送る」という決意の表れが、0学期という表現にこめられています。

さて、話は変わりますが、令和6年の干支は「辰」（たつ）です。辰とは竜（龍）のことですが、動物を表す干支では唯一、架空の生き物です。ほかはすべて実在の生き物なのに、なぜ架空の竜が選ばれたのかというと、色んな説があり、はっきりとした理由はわかっていません。もともと干支は、紀元前の中国で、暦や時間を表すために使われたのが始まりだといわれています。そして今年の辰年は、新しいことを始めて成功する、いままで準備してきたことが形になるといった、縁起のよい年になるとも考えられています。

では、新たな1年が始まる「節目」の時を迎えるにあたって「竹」の話をしていきます。竹は、弾力があり、空に向かって真っすぐ伸び、雪が積もっても折れない、そんな強さがあります。そのため、昔から様々な生活用具にも使われてきました。この竹の強さ、折れずに元に戻る「しなやかな強さ」は、竹に「節」があるからといわれています。この「節」には成長点というのがあり、それを基に一気に成長するそうです。また、「節」があるために弾力性があり、折れにくく元に戻る「しなやかな強さ」が生まれるともいわれます。人間も同じです。「節目」を大事にすることが、今年の新しい年の成長につながります。

また、「節」は年輪と同じように寒い冬の時期を耐えることによって太くなるともいわれます。私たちも同じだと思います。楽しいことや楽をすることばかり考えていると、成長を促す「節」はできません。苦しいことや辛いことがあっても頑張り、気分転換などしながらも努力していくことによって「節」が太くなり、みなさんの成長につながります。そして、苦しいことがあっても耐えられる「しなやかな強さ」を身に付けてほしいと思います。

さあ、この3学期、次の学年への節目として、健康に留意しつつ、皆さんの努力が実を結び、成功につながるとともに、大きく成長してくれることを期待しています。